

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。



心臓血管外科

シャント外科

当山真人医師

退職のご挨拶

はいさい！御衆（ぐすう）よう。心臓血管外科・シャント外科ぬ當山やいびーん。1981 年（昭和 56 年）医療生協沖縄協同病院かい入職し、41 年ないびたん。長（なげ）ーん専門診療技（わじゃ）しちあーいびたしが、くぬ度（たび）、沖縄協同病院とう協力関係のあゆる [こくら台ハートクリニック] からう願（にげ）ーぬあてい、移籍さあに専門診療 続ける（ちじきる）事（くとう）にないびたん。沖縄協同病院在職中や手術室・血管造影室（アンギオ室）・病棟他ぬスタッフぬしんかぬいちゃんかい いっぺー助（たし）きらってい なんとか職責全うさびたん。大事（でーじ）にふえーでーびたん（ありがとうございました）。

私（わん）が入職さる当時や沖縄協同病院ぬ集中治療室（ICU）やいっぺ充実そういびたぐとう、私は思い切って（うみちとう）手術さびたん。手術から長年たって、何人かぬ御衆（ぐすう）ようが、カジマヤーぬ祝い（うゆえー）さびたしが、うぬ内ぬ一人の方からカジマヤー（風車）を頂き（うさがてい）、私は診察室にしばらく飾って（かざてい）うちゃびたん。

長く（なげーん）外来に通って（かゆてい）くみそうちやる御衆ようん いっぺにふえーでーびたん。いつもいつも励ましくみそうち にふえーでーびたん。

これから手術を受けられるかたは、手術はゴールではなく新しい人生の始まりやいびーぐとう 頑張って（ちばてい）手術を乗り切り長命しくみそうれー。

私は こくら台ハートクリニックに行ってからでも沖縄協同病院と協力しながら専門診療をつづけます。これからも（なまからん）ゆたしくお願い（うにげー）さびら。

嘉手川医師 研究奨励賞

当院、泌尿器科部長の嘉手川豪心（かつみ）医師に、沖縄県医科学研究財団 2021 年度表彰において、『研究奨励賞』が贈られました。そこで嘉手川医師へこれまでの研究の道のりをお聞きしました。



嘉手川豪心医師



授与式

ー2010 年 4 月に沖縄協同病院へ入職し、排尿障害の基礎研究と臨床（診療）をなぜ両方いっぺんに取り組もうと思ったのでしょうか。

嘉手川) 2007 年から 2010 年の琉球大学大学院でラットを使用した基礎研究をしていて、とても充実していました。大学院を卒業して、縁があって沖縄協同病院に就職させていただきましたが、楽しかった基礎研究をどうにか継続したくて、一般診療と一緒に頑張る事にしました。木曜日午後に外来の応援に来ていただいている菅谷公男先生に指導を受けながらやっています。

ー3 年くらい前からラットを使った研究を行い、膀胱炎の血管が炎症を起こしていることを解明されましたが、着目したきっかけはなんでしょうか。

嘉手川) 間質性膀胱炎では膀胱の間質の炎症が病変の首座だと考えられてきました。しかし、この病気は膀胱粘膜の出血が特徴的なので、以前から菅谷先生とともに血管の病気ではないかと考えてきました。まだまだ病態解明には至らないが、今後も研究を続けて有効な治療法につなげて行きたいと思います。

ー病院での外来診療や手術をしながら研究を続けていて、大変だった点・臨床をやっていて良かった点をお聞かせください。

嘉手川) 実験によってはラットのおしっこの世話が 2 週間ほど必要になりますが、沖縄協同病院で勤務前と勤務後に琉大に通う必要がある時はちょっと辛いです。病院で臨床を行うことで、基礎研究だけやっていたら出てこない発想が出てきたり、基礎と臨床の橋渡しができる点は良かったです。

嘉手川医師は授与式で「臨床をしながら基礎研究をしてきた。沼にはまることもあるが、これからも研究を続けたい。」と挨拶されました。



今月の1枚

古蔵中より応援メッセージ

沖縄協同病院へ向けて「ありがとう」が飾られています。春には花が咲くそうです。



病院の活動状況 <2022年1月度>

- ・外来一日平均患者数：287人（前年同月比 +19人）
- ・入院一日平均患者数：255人（前年同月比 -29人）
- ・組合員利用分量（率）：56.7%（前年同月比 +1%）

12年ぶり! 壁面掃除

12年振りに一階エスカレーター前ホールの壁面掃除を行いました。

ホールは吹き抜けとなっており、壁面も高く簡単に掃除できない場所となっていました。

この間ほこりなどが壁に付着し、大変よごれていたため工事現場でよく見かける足場を組み大掛かりな壁面掃除を2日間かけて行いました。その甲斐もあり元の綺麗な白い壁に仕上がっています。

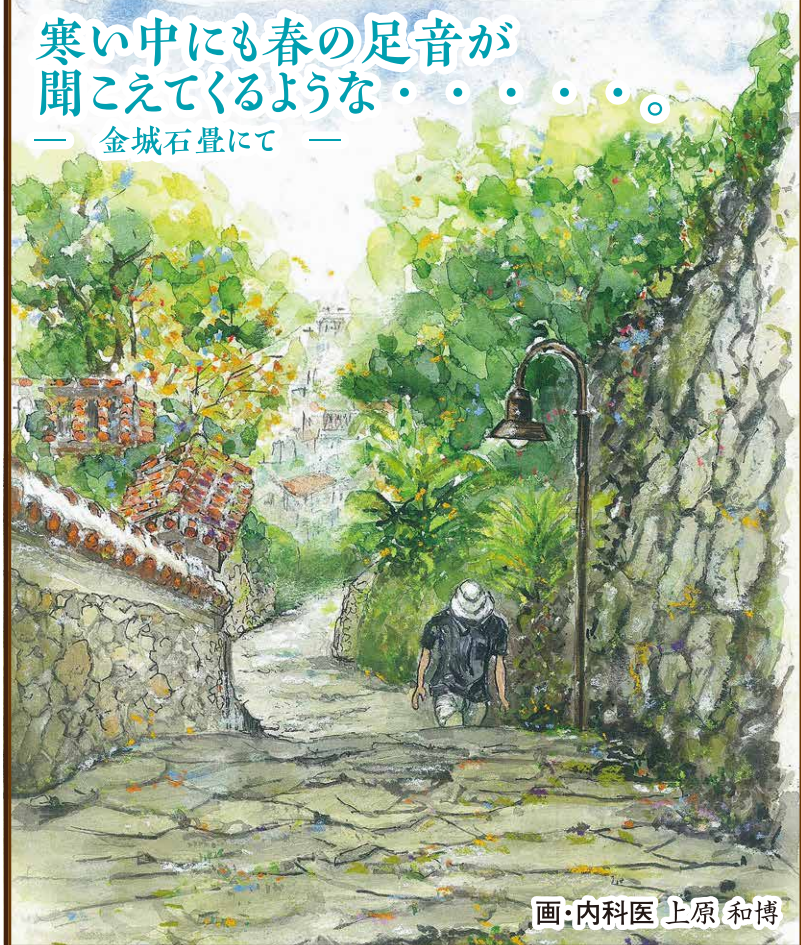
清掃の際に外来受診に訪れた患者様には、ご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

総務課 課長 座安樹



寒い中にも春の足音が聞こえてくるような.....

— 金城石畳にて —



画・内科医 上原 和博

部署紹介

①師長室

当院で一番大所帯の看護部は看護師、助産師、救急救命士、看護補助者、300名余りが所属しています。その職員を管轄している師長室は総看護師長1人と副総看護師長2人、法人内病床調整師長と看護補助者指導担当看護師が所属しています。

看護職は外来や病棟、検査室などいろいろな場所で患者さんと密接に関わっており、看護職員の印象が病院全体のイメージになりやすいと感じます。そのため、私たちは確かな知識と技術を基に患者さんやご家族に安心して利用していただける病院を目指し、これからも一同で努力していきます。

副総看護師長 玉城淳子



委員会活動報告

①衛生委員会

いつも、「はいさい」を手にとって頂きありがとうございます。

今月号から病院の委員会や会議を紹介することになりました。初回は衛生委員会の紹介をさせていただきます。衛生委員会とは、労働安全衛生法のもと従業員が50人以上の事業所(当院の職員数は約800人)に設置義務があり、最大の目的は従業員の健康被害や労働災害の予防です。会議は月1回(第2火曜日)開催しており、委員は院外の産業医と産業保健師が各1名、管理職と従業員からなる委員が合わせて15名で構成されます。会議前に病院内ラウンドを実施し労働災害

が起きる危険性を確認、管理者側と従業員が一体となってその予防・対策について審議します。2019年1月に新型コロナウイルス感染症が確認されてから2年が経過しました。未知なる感染症へのストレスやマンパワー不足で職員の業務負担が大きくなっています。ストレスチェックの実施や健康診断、長時間労働に関する問題をしっかりと把握し、職員の労働環境改善に努めていきたいと思ひます。

衛生委員会・松田南海男



ハルサー

金城 稲子

この戦争を止める行動をしなれば、沖縄も同じ道をたどることになるかもしれない。

さて、世界中がコロナと闘っている時にロシアがウクライナに全面軍事侵攻を始めた。市民の逃げ惑う様子、ATMや車の行列を見ると戦争は日常に突然にやってくる。悪いのは誰なのかわかっているのに止められないのだ。危うさを増す台湾情勢によつては沖縄にとつて対岸の火事ではない。戦場(出撃・発射・攻撃的)となるのは米本土、日本本土ではなく基地が集中するこの沖縄なのだ。今、全世界が

痛いというが、年齢を受け入れてるので愚痴は言わない。去年電話したとき、「死ぬ前にどうしても食べたいものがある」という。何かと聞いたら「キーンムが又チカジリ好き」だという。そういえば、キーンムの芋を蒸したものを何度か食べさせてもらった。甘みは少ないがホクホク、ムチムチした感触は初めてで、癖になる味だ。ちょうど畑の近くに捨てられているキーンムの木を見つけていた。早速十本程折って来て畑の隅に差し込んでおいた。葉が散っていく頃が芋を掘る時期だと言う(因みに新芽が出る頃は中毒することもあるという)ので早速掘ったら一本に五kg超の芋が付いていた。二本分持っていたら、毎日アガーヨーシながら台所まで歩いて行って蒸して食べているよ」と電話が来た。

私には九十三歳になる友人(オバ)がいる。四十年前の同僚だ。コロナ禍になってからは電話での安否確認をしている。電話の第一声は「生きてるねー」から始まり、返ってくる答えは毎回「アガーヨー」である。体中が

ハルサー
だより ④

キーンム(タピオカ)